

第1回「きのさき見て歩き」を開催しました

実施日 2021年6月4日(金) 10:00~14:00 (天気:雨)

講師 坂田 文一郎氏(城崎文化協会会長)、松原 典孝氏(兵庫県立大学大学院講師)

内容 円山川下流むらめぐり



<鼻かけ地蔵>

鼻の欠けた石のお地蔵様。

そのワケは、楽々浦の昔話として語り継がれています。

お地蔵様の隣にある巨樹。クスの木?昔話ではタモの木ですが、はてさて。



<飯谷地区>

これより先にある韓国神社へ行きたかったのですが、道が細く車では行けず…。残念。



うきべんてんしま
＜浮弁天嶋＞

通常は立ち入り禁止の浮弁天嶋へGO！
普段は入れない場所に行けるのが、見て歩きの醍醐味！間近で見る本堂、貴重な体験です。陸地から入り参拝しましたが、舟で鳥居をくぐるのが正式な参道です。

鳥居は、広島の大島神社と同じ「四脚鳥居」という珍しい形です。

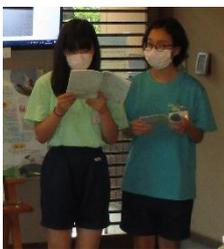
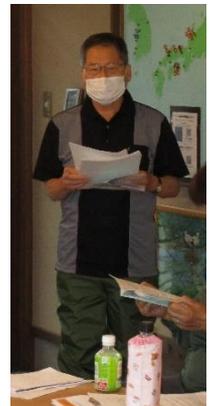


ブラタモリにも出演された兵庫県立大学大学院の松原先生の講義。
豊岡盆地のでき方や、円山川とコウノトリの関係などを学びました。

※ブラタモリ：タモリさんが司会を務める、NHKの紀行番組。

城崎・豊岡の回に、松原先生が出演しました。

長年、見て歩きの講師を務めている坂田先生。円山川下流に関わる文学作品や、楽々浦の三島神社・飯谷の韓国神社についてお話。その後は「質問はないと嬉しいんですが」と言いつつ、参加者からの鋭い質問にも答えていました。



6 Kmの行程を徒歩で巡る予定でしたが、雨天のため車で巡ることに。

それでも見学地では車を降り、しっかり見て、楽々浦の歴史を感じ取りました。

参加者の皆さんもこの機会にとばかり、講師2人に質問を投げかけ、講師はタジタジになっていました。

《職場体験で参加した中学生の感想》

・私の家にも玄武岩があります。だけどそんなにすごい岩だとは思いませんでした。私には少し難しい内容だったけど、自分のまちについて少し詳しくなりました。

・人前での朗読は少し緊張したけど、上手にできたと思います。コウノトリも見れたし、いろいろな場所を見学できて良かったです。

・自分が住んでいる城崎には、いろいろな歴史や特徴が沢山あることがわかりました。まだ自分の知らない事が沢山あるんだと思いました。